

高校生のための 瀬戸内アートサマープログラム

2nd

2024
参加者
募集

テーマ 過去を未来につなぐ

毎年人気の高校生夏休みプログラムも、今回で7回目を迎えました！瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクターの北川フラムさんや香川大学 特任教授の長谷川修一さんを講師として、瀬戸内国際芸術祭や瀬戸内の島々について学び、瀬戸内の島でのフィールドワークを行い、その成果を発表し合います。この活動を通して、各島の歴史や文化をどのように未来に継承するか考えると同時に、自分たちの将来や地域の活性化について考えてみませんか？

1 オリエンテーション

7月26日(金) 9:30集合 16:00解散(予定)

会場：香川県立高松工芸高等学校 自彊ホール(午前)／香川県庁本館3階 会議室他(午後)

内容：講義(北川フラム氏、長谷川修一氏)、グループワーク(フィールドワークの計画作成)

2 瀬戸内の島々でのフィールドワーク

7月27日(土)本島、28日(日)伊吹島、29日(月)大島、30日(火)男木島、31日(水)豊島

・参加生徒は、学校や学年の枠を超え5名ずつのグループに分かれ、各島10名(2グループ)で探究します。

・グループ分けならびに行き先については、参加者の希望をもとに事務局にて決定します。(希望が偏った場合など、希望に添えないこともありますのでご了承ください)

3 プレゼンテーション & 講評

8月16日(金) 9:30集合 16:00解散(予定) 会場：香川県庁ホール

内容：各グループによるプレゼンテーション

※プログラムの詳細については、別途参加者のみなさんにお知らせします。



● 課題図書

A～Cの中から1冊とDの中から5回分をオリエンテーションまでに読んでくると芸術祭やプログラムへの理解が深まります。

- A** 「直島から瀬戸内国際芸術祭へ」
福武總一郎、北川フラム(現代企画室)
- B** 「忘れられた日本人」
宮本常一(岩波文庫)
- C** 「ひらく美術」
北川フラム(ちくま新書)
- D** 四国新聞「瀬戸内物語」
ウェブ連載



https://www.shikoku-np.co.jp/feature/kitagawa_column/

● 参加費 無料

※ただし、フィールドワークに伴う経費等(交通費や施設入場料を含む)は参加者負担。プログラム参加に係る保険料は主催者にて負担。

● 定員 50名

● 応募締切 6月3日(月) ※定員を超えた場合は抽選となります。学校を通じてお申し込みください。

● 問い合わせ先 香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課 TEL 087-832-3773

● 講師の紹介

北川 フラム 瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター

アートによって多くの人々をつなげ、地域を活性化させるなど、アートの可能性を広げる活動に取り組まれています。「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、「瀬戸内国際芸術祭」の総合ディレクターとして活躍され、2006年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)、2010年香川県文化功労賞、2016年紫綬褒章、2017年朝日賞、2018年文化功労者に選出されるなど、数々の賞を受賞されています。



瀬戸内の海と島々はたくいまれな独特な個性を持っています。アーティストはそれらをかたちにしました。アートは土地の力を活かす技術でした。瀬戸芸からは、造形だけでなく、食やスポーツ、音楽・芝居の新しい可能性が生まれ、それは国内だけではなく海外の若い人に元気を与え始めました。今、この瀬戸内地域でおきていることは世の中の希望になってきています。高校生諸君もその中に入り込んで、君たちの好きなものを見つけて欲しいと切に思います。

長谷川 修一 香川大学危機管理先端教育研究センター長 特任教授

「香川県まるごとを、ユネスコ世界ジオパーク(世界的な地球活動の遺産を活かした大地の公園)にしよう!」という「讃岐ジオパーク構想」を推進されています。NHKテレビ番組「プラタモリ」「ジオジャパン絶景100の旅」等に出演され、香川の地形・地質と「さぬきうどん」の関係についてお話しされました。



「備讃瀬戸の島々に世界的な価値があるのではないかと気付かせてくれるのが「瀬戸内国際芸術祭」ではないでしょうか? まずは、島を訪れ、なぜこの島に〇〇があるのか、人の歴史だけではなく、大地の成り立ちから謎解きをしてみませんか。きっと、島の魅力の秘密と地域を元気にするヒントが見つかると思います。地域を元気にする主役はあなたです。」

瀬戸内国際芸術祭とは >>瀬戸内国際芸術祭は、美しい瀬戸内海の島々を舞台に3年に一度開催される現代アートの祭典です。備讃瀬戸に浮かぶ島々などを舞台に、アートを通して地域の活力を取り戻すことをめざしています。2010年(平成22年)に始まり、これまで5回開催しました。世界から集うアーティストやボランティアと島の人々とが協働して生まれた作品は、地域の伝統文化や美しい自然とともにそこでしか見ることのできない輝きを放っています。香川の高校生にも、ぜひ、島々に足を運び、その魅力を体感してもらいたいと思います。